



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 会談録（日・琉球首脳、政府高官）（42.6.23堀総務副長官・アンガ 高等弁務官会談録 外務省外交史料館レファレンス番号：H221338）
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(3)No.1 公開日：平成22年12月22日 外務省外交史料館管理番号：A'3.0.0.7-1(5) CD・DVD番号：H22-009
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43191
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

11

92.6.23
堀 給 務 副 長 官 ・ ア ガ 高 等 井 管 官 会 談 録

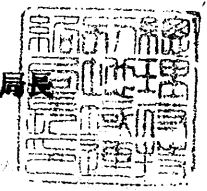
近藤 寛 侯爵

北米局長
参事官

北米課長
総特第2540号
昭和22年7月7日

外務省北米局長 殿

総理府特別地域連絡局長



堀総務副長官、アンガー高等弁務官会談録(要旨)
の送付について

6月23日沖縄で行なわれた堀総務副長官とアンガー高等弁務官との会談について、別添のとおり同会談の要旨をとりまとめたので、御参考までに送付します。

要処	送達
要研究	至
課	
英	内
邊	津
田	吉
森	坂
相	元
中	元
本	
須	



総 理 府

秘

堀総務副長官のアンガー高等弁務官との会談要旨

日時 昭和43年6月23日(金)
午前9時45分～10時23分

場所 高等弁務官府

出席者 日本側 堀総務副長官
高杉南方連絡事務所長
斎木総理府事務官

米側 アンガー高等弁務官
マーチン政治顧問
ステーブラー高等弁務官特別補佐官
キルパトリック渉外官

通訳 サンキ副官

総 理 府

堀総務副長官： 先ず御礼を申し上げたい。アンガー高等弁務官にお願いしていた沖縄船舶に日の丸掲揚及び先島航路への日航の乗り入れが7月1日から実施されることになり私たちは喜んでいる。

アンガー高等弁務官： 私も二つの件について実現方を喜んでいる。この二点は日米協調のこれ以上の保持に意義がある。日米だけでなく琉球を含む三角関係の協調を深くするために喜んでいる。

私たち民政府の公益事業局長コ克蘭大佐の話だと日航は期日通り運営を確保しうるといつているが、これは日航の運営能力の充実を意味する。

現在どちらの沖に海上自衛隊のミサイル船が1隻来ているがその外に防衛研修所の学生が来ている。石塚海将補たちは昨夜レセプションをやり、たのしい交わりをしたが、外務省及びその他の日本の機関を代表する方がいた。

堀総務副長官： それはありがとう。

最近是我々は忙しい。衆参両院に特別委員会ができ週2日の会議をやるが、最近では週4日もやつており、総務長官、山野局長も国会へ引っぱり出される時間が多い。それから細かいことを審議するのでいろいろな資料を要求して

総 理 府

くる。外交ルートを通じて米民政府、琉球政府にお願いしているが、今後もそういうことがふえるのでよろしく願います。

アンガー高等弁務官： わかりました。国会において両院にそういう委員会が設置されていることは承知しているし、且つ討議内容も知っている。国会に提供する資料は今までどおり外交ルートを通ずる方がよいと思う。それは皆様方にとつてもアメリカにとつても最善と思う。

堀総務副長官： 特別委員会では沖縄の日本への復帰が基本的議論であるが、最近の沖縄住民の人権問題もやましく議論されている。

人権問題はこの前来た時もお願ひし、私は弁務官がこの問題に関し御苦勞されその防止に努力されていることを知っている。国会では米兵傷害事件を中心に議論しており、この問題を日米の友好関係阻害のために政治的に利用せんとするグループがある。それを予防し事後の措置を円滑にするためによろしく願ひする。

私たちは人権問題を適当な機会に日米協議委員会で議題にした方がよいと思つており、大使館にもお願ひしたいと思つている。総務長官もその考えているのでこの機会に

お話ししておきたい。

アンガー高等弁務官： この点に関しては私自身が大きな関心をもっていることを繰り返しいうが、日本政府が関心をもっていることも理解できる。このような事故をふもしたす環境を未然に防ぎ、事故がおこつたあととは処置することで今後事故が起らないようにしたい。自分の麾下部隊にも徹底をはかっているが、空海軍の司令官においても同様に事故防止の関心をもち犯罪を許したものでない事を徹底している。

御承知の通り犯罪が起るのは一つの区域に限られたものでなく、琉米両地域に起つているが警ら隊は琉球警察と協力し何処に事故が起り易いか地域を指定して予防策をとり大きな成績を挙げている。世界各国において犯罪数は上昇し、各国警察共頭痛の種になつている。ドイツにおいても・・南阿においても・・警察を増強している。

我々としてはこの問題につき最善の努力をしたい。

堀総務副長官： プライス法の改正についてアンガー高等弁務官の御努力に感謝しているが、1967年度には改正がでまなかつた。1968年度に改正ができないと日本政府においても予算編成上苦境に立つものと思われる。アンガー

高等弁務官の御努力を認識し、感謝するが今後解決するよう御努力をお願いします。

アノガー高等弁務官： 私たちの行政部門ではこの法律を支持しているがこの問題は議会の承認を得なければならない事である。議会でいかなる結論がでてくるかは臆測できぬが、私たちは議論を正当化し、議会が受諾するよう努力したい。